

# ベラルーシ公開情報とりまとめ

(11月27日～12月3日)

2023年12月11日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

### ●ルカシェンコ大統領の国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)への出席(12月1日、於:ドバイ)

#### 【ルカシェンコ大統領動静】

##### ●メネンデス・ベネズエラ副大統領兼企画大臣との会談

・ルカシェンコ大統領は、ベラルーシ・ベネズエラ間の全ての共同プロジェクトを見直し、要すれば新たな方向性や協力分野を追加することで、以前に規定されたロードマップを更新することを提案。

・メネンデス副大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領からの、二国間首脳会談の実施に関する提案を伝えた。

(11月28日 大統領府)

##### ●パレスチナ人民連帯国際デーに寄せたルカシェンコ大統領の祝電

・今日、人類の大部分にとって、パレスチナ国家を建国し、中東において公正かつ恒久的な平和を実現するための歴史的な妥協の模索が、中東地域の福祉の基盤であるだけでなく、全世界の安定の基本でもあるということは明白。

・貴大統領とパレスチナ人民に対し、可及的速やかに合意が実現され、パレスチナの地において平和な暮らしが営まれるようになることを祈念。

(11月29日 大統領府)

##### ●国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)への出席(於:ドバイ)

(1) COP28におけるルカシェンコ大統領の発言要旨

・気候変動のそもそもの原因は戦争。世界各地で戦争の火種をあおって燃え立たせている者がいる。

・ベラルーシはパリ協定に関し、自らが負う義務を完全に果たしてきたが、その見返りに、新たな経済制裁、国際貿易における障壁、技術へのアクセス制限が課されている。

・ベラルーシは、気候変動の主な責任を自ら負わなければならない者全てに呼びかける。第1に、気候分野での安全に関する問題の解決に分相応の貢献をし、第2に、開発途上国等に対する支援を強化し、第3に、「懸念」を表明するのは止め、実際に行動を開始すること。

・イラクやアフガニスタンでの戦争では、1.5兆ドルから2兆ドルが費やされており、ウクライナでの戦争は5兆ドルが費やされる事態になりつつある。それを清浄な地球のために振り向けようではないか。

(2) COP28のフリンジでの立ち話

・ルカシェンコ大統領は、グテーレス国連事務総長、ムハンマド・アラブ首長国連邦(UAE)大統領の他、キューバ、ジンバブエ、トーゴ、ボツワナ、赤道ギニア、コンゴ共和国、ケニア、セルビア、アゼルバイジャン、モンゴル、コモロ等の首脳と立ち話。

・アレクシク外務大臣は、ケリー米国務長官と立ち話。  
(12月1日 大統領府)

#### 【内政】

##### ●カリノフスキー連隊に寄付したベラルーシ人に対し、5年の自由剥奪刑

(12月2日 ベラルーシ検察)

##### ●11月30日現在の政治犯の数は1,446人

(11月30日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

##### ●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(11月27日～12月3日)

(1) ベラルーシから欧州各国への不法越境の試み

・リトアニア国境警備局は少なくとも45人を阻止。

・ラトビア国境警備隊は少なくとも53人を阻止。

・ポーランド国境警備隊は少なくとも105人を阻止。

(2)11月29日には、上記3か国へのベラルーシからの不法越境の試みは確認されなかった。これは、移民危機開始以来初。

(11月28日～12月4日 Pozirk)

### 【経済】

#### ●ベラルーシ・ロシア両国首相は、経済分野での統合に関する新たな文書に署名

・両国政府は、ベラルーシ・ロシア連合国家創設条約をさらに3年間延長して実施するための主要な方向性の草案を作成。

・新たな文書には、エネルギー市場と輸送市場を統合し、競争条件を均等化し、消費者の権利を保護するための措置が含まれている。

(11月29日 露「コメルサント」、「ゼルカロ(鏡)」)

### 【抗議勢力の動き】

#### ●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

(1)ラトビア訪問(11月27日、28日)

・リンケービッチ大統領、スィリニャ首相らラトビアの要人と会談。

(2)30か国の大使を対象としたブリーフィング(29日、於:ビリニュス)

・ブリーフィングには、米国、ドイツ、イタリア、フランス、スペインをはじめとする30か国の大使が出席。ベラルーシにおける政治犯や被抑圧者の状況や、ベラルーシ人への外国人用旅券の発行の合法化の問題につき協議がなされた。

(12月3日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

### 【その他】

#### ●リトアニアは、安全保障上の脅威を理由に入国を禁止されたベラルーシ人の数を公表

・11月27日、ピロタイテ・リトアニア内務大臣は、年初からリトアニアへの入国を拒否された外国人は1万6,000人にのぼり、うちベラルーシ人は600人、ロシア人は527人である旨発言。

・さらに、411人のベラルーシ人が滞在居住許可を取り消され、562人が一時滞在許可の発行を拒否された。

(11月27日 Lrt.lt、「ゼルカロ(鏡)」)

#### ●国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)は、ベラルーシ赤十字の同連盟への加盟を12月1日より停止

・IFRCは、このような措置が取られたのは、ベラルーシ赤十字がシェフツォフ事務総長の解任を拒否したためと説明。IFRCは、同事務総長がドンバス地域を訪問し、同地域の子どものベラルーシへの連れ去りに関与していることを認める発言をしていたことを理由に、同事務総長の解任を要求していた。

・12月1日より、ベラルーシ赤十字への新たな資金提供が停止され、IFRC総会への参加や会議等での投票、選出が不可能となった。

(12月1日 国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC))

(了)